

## 事業者向け

## なないろキッズホーム放課後等デイサービス自己評価表

公表:平成 31年 3月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人当たり4.5㎡の床面積を確保、学習室やクールダウンのスペースを設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員を常時3人以上指導スタッフとして配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			子供が安心して過ごせるよう遊具等を整備。事業所内は全てバリアフリー化し身体障がい児及び車椅子でも利用可能に整備している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			2店舗が同じシステム、同じ理念や目的をもって支援に従事できるよう月2回の合同ミーティングなどで随時意見交換をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			全従業員が保護者向けアンケートを把握し、ミーティングに改善項目などを提案し改善実施を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HP及び事業所内掲示にて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	相談支援員及び関係者による意見交換等により客観的かつ専門的な評価や改善点を随時取り入れる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に一回事業所内研修、月1回外部研修に全従業員が受講することになっている。また、外部研修未受講の従業員には時間を設けて事業所内で研修を受けてもらう。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング、送迎の引き渡し時、電話など日頃から保護者等から子供の小さな変化や課題などアセスメントし、従業員同士日々のミーティングで話し合い作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			今後取り入れるよう対応する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日のミーティングで子どもたちの様子を踏まえて行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日のミーティングで子どもたちの様子を踏まえて行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は短時間の療育時間で提供する内容、長期休暇などは長時間メリハリのある、また飽きずに楽しく通えるよう支援内容を工夫している。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が苦手な子供には適宜、個室を活用し無理なく過ごせるよう配慮している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、非常勤含む支援内容、従業員配置、送迎など全員で確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケース記録を記入しつつ、その日のフィードバックを全従業員で行う。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録、業務日報を必ず記入し、次の日に全従業員で再確認する。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回モニタリングをし個別支援計画作成を行う。また常時行う保護者との連絡交換で全従業員で判断した場合個別支援計画の見直しを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供全ての基本活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必ず児童発達支援管理責任者が参画する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者から学校の行事や給食案内プリントなどを控えさせてもらい、子ども達と共有しない時間話を話題にするなど行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		今のところ、医療的ケアの必要な利用者はないが、必要に応じて関係機関との連携をとる体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			施設同士の見学など随時行い、情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		利用に際しての全指導記録が保管されているので、要望があればいつでも提供できる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援者会議や事業所交流会で助言を受け、外部研修を研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			今のところ機会を設けていないが、野外活動や公共機関などを利用し、障がいのない子供と同じ空間でルールを理解し守りながらのびのび過ごせるよう療育している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			時間を作って参加するよう努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者と密に連絡が取れるよう、メールや電話、また送迎に指導員がお伺いするなど話し合える環境設定を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今のところ行っていないが、今後必要であれば随時努める。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			毎回契約時に適切に説明し理解を得られるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			常時行っている。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年に一度2店舗合同の保護者会を行い、保護者同士が話し合える環境を設けている。
-----	----	---	---	--	--

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に相談及び申し入れに対して迅速に対応するように徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HPにブログを定期的に更新し、活動内容を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			必ず施錠できる書庫に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者に応じ、手話、マカトン、絵文字カードを研修し利用者の表情もくみ取るよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今のところ行っていないが、今後必要であれば随時努める。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、出入口に掲示し保護者に周知してもらうよう努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			3か月に1回避難訓練を実施し、救命救急のための訓練を定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月に一回事業内で虐待防止研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			月に一回事業内で虐待防止研修を行っている。また身体拘束が必要な場合がある利用者に対して、個別支援計画に記載し理解と了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を保護者からアセスメントしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ファイリングし、全従業員がいつでも閲覧できるようにしている。